

第7回 グッドアクアリウムデザイン賞

応募要項

応募期間：2023年6月1日(木)～8月3日(木)

審査発表：2023年10月29日(日)

審査会場：アクアリウム東京ネイチャー2023 (新宿住友ビル)

主催：グッドアクアリウムデザイン実行委員会

特別協賛：みずものコム

協力：アクアリウム東京、アクアリウムバス

後援：一般社団法人日本ペット用品工業会 ※申請中
日本観賞魚振興事業協同組合 ※申請中



GOOD AQUARIUM

Design Award 2023



CONTENTS

グッドアクアリウムデザイン賞とは	02
応募規定	03
応募から発表までのプロセス	04
審査について	05
審査費用	05
賞について	06
審査員	07
お問い合わせ	07

グッドアクアリウムデザイン賞 WEBサイトもご参照ください。

www.goodaquarium.jp



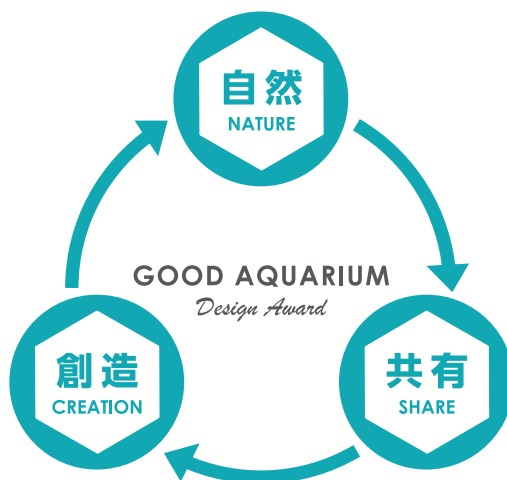
グッドアクアリウムデザイン賞とは

グッドアクアリウムデザイン賞は、
アクアリウム（観賞魚飼育）の普及に貢献する
すべての製品・空間・サービスを対象とする顕彰制度です。

アクアリウムには人を癒す効果があることが実証されています。自然とふれあう機会を作ることで、現代のストレスや高齢化といった社会の問題にも、アクアリウムがより豊かな暮らしへと導いてくれるでしょう。こうした事実は、業界関係者や一部の方には理解が進んでいるものの、一般消費者への更なる普及が必要であると考えています。

グッドアクアリウムデザイン賞は、「いいね! アクアリウムのある暮らし」のためにデザインされた製品・空間・コミュニケーションの中から優れたものを選出し、広く社会へ伝えることを目的に創設しました。

観賞魚飼育を目的に開発されたデザインはもちろんのこと、アクアリウムのある空間やコミュニケーションなど、アクアリウムの普及に貢献するデザインであれば応募可能です。水槽から飼育用品、生体、熱帯魚ショップ、水槽のあるレストラン、アクアリウム関連の新ビジネスまで、幅広い分野が対象となります。グッドアクアリウムデザイン賞を受賞した作品には「GAマーク」をつけることが認められ、販売販促活動や広報活動などで、その効果を広く社会にアピールすることができます。





応募規定

応募にあたっては、以下の要件にご留意ください。

【カテゴリーごとの要件】

1. プロダクト

- 2023年12月31日時点において、日本国内で、製品として市場に出ている、または予定のあるものが、応募対象となります。
- 応募時に未発表の製品やサービスであっても、上記の要件を満たしていれば応募は可能です。
- 新たに発売された製品やサービスでなくても、応募対象となります。
※作品現物がモックアップやダミーの場合、実際の製品と同等の性能を確認できなければ審査対象外となる場合がありますので予めご了承ください。
- デザインが同一で、色やサイズなどのバリエーションがあるものやシリーズ商品については、1件の作品として応募が可能ですが、応募時に全点の内容がわかる資料の提出が必要になります。
また、審査時に全点提出による審査を必要とする場合や、1点ずつ個別の作品として応募しなおしていただく場合があります。
- 輸入製品については、その輸入元の日本法人あるいは総販売代理契約やライセンス契約を締結した企業・団体からの応募が可能です。総代理店契約のない輸入品については、製造元との連名応募としてください。

2. 建築・空間

- 2023年12月31日時点において、日本国内で竣工している、または予定のある建築・空間が、応募対象となります。
- 個別物件ではなく、商品として2023年12月31日までに発売予定のプロトモデルの提案の場合は、計画設計図書やパース、模型等により内容の確認ができる場合、応募は可能です。
- 個別物件で、応募時に竣工していない場合でも、着工済みの物件であり、計画設計図書やパース、模型またはモデルルーム展示内容の解説物などにより、その応募作品の特徴が確認できる場合、応募は可能です。
- 設計、施工会社からの応募の場合は、施主あるいは管理運営企業などの施設運営に関する取り組みも審査対象となりますので、その記載と了解が必要となります。

3. コミュニケーション

- 審査時に、日本国内において、コンテンツやサービスとして市場に出ているもの、および、新ビジネス、様々な取り組みや活動で、成果が見られるものが応募対象となります。ワークショップ、講座、展示会などの取り組みで過去に実施されたものも応募は可能です。

4. アイデア

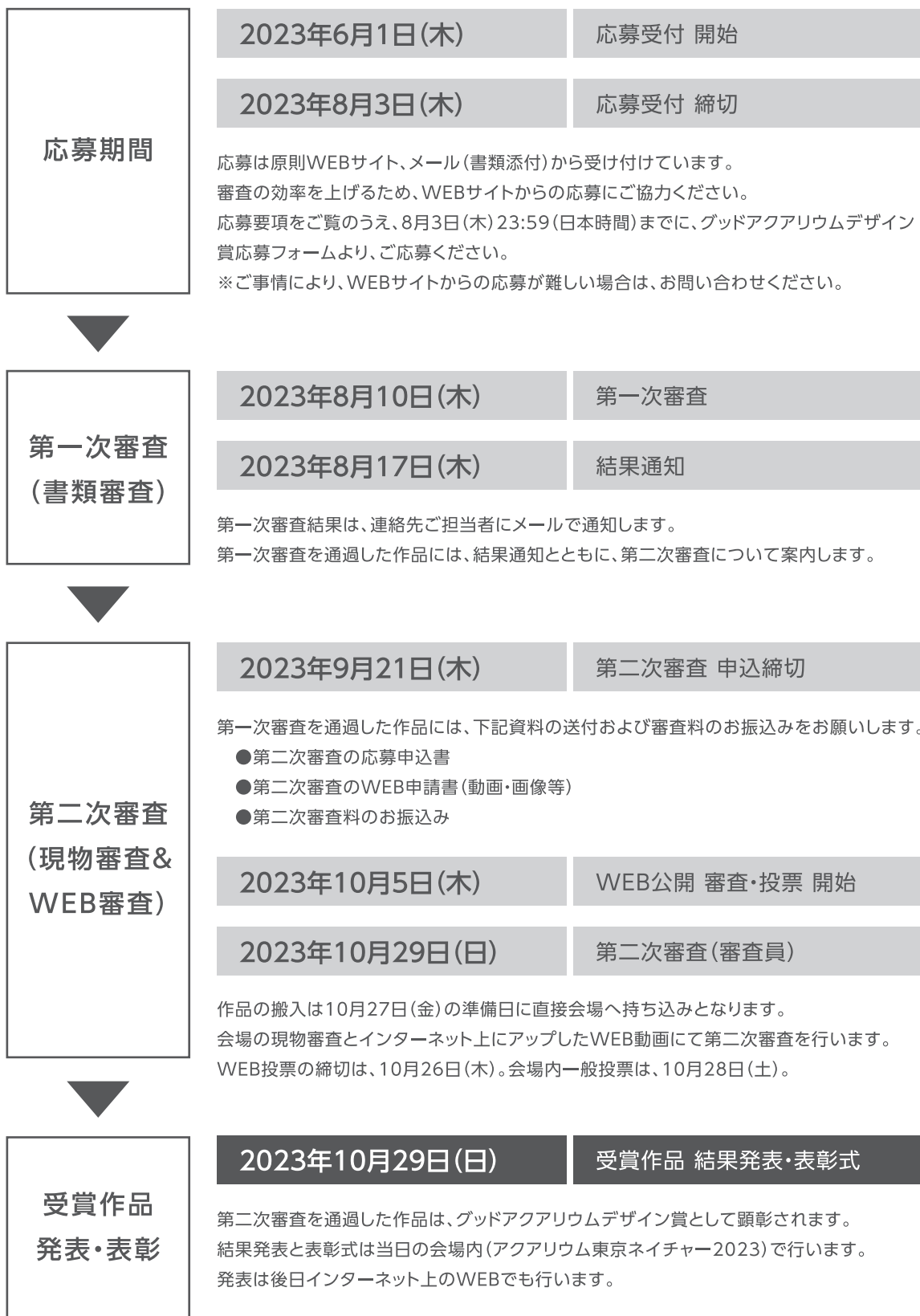
- まだ市場に出していない製品や建築・空間、コミュニケーションのアイデアや企画が応募対象(学生)となります。

【応募者・作品に関する要件】

- 応募者は、応募対象の主たる事業者(開発・製造元、施主、運営主体)とします。関係先との連名の応募も可能です。
- 企業のみならず、個人、団体、自治体、学校、保育園、医療機関、研究機関などからの応募が可能です。
- 過去にグッドアクアリウムデザイン賞に応募した製品・サービス等や受賞作品でも応募可能です。
- 大量生産でも手づくりの商品でも、一般の方が入手または利用できるものであれば応募可能です。
- 事業や活動規模の大小は問いません。
- 「グッドアクアリウムデザイン賞」の受賞者が、受賞発表後に「応募要領」及び「GAマーク使用要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。また、「グッドアクアリウムデザイン賞」の受賞対象について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。
受賞対象が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。受賞対象が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。受賞者及び受賞対象に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。



応募から発表までのプロセス



※上記日程は変更となることがあります。



審査について

第一次審査(書類審査)

応募の内容について、下記の確認を行います。

- ・賞の主旨に合致するものであること。
- ・応募規定に記載の要件を満たしているものであること。

第二次審査(現物審査&WEB審査)

第一次審査を通過した作品のみ、現物審査とインターネット上にアップしたWEB動画・画像にて第二次審査を行います。審査のポイントのうち、どの点において優れ、デザインミッションと関連しているかを審査・評価します。

審査のポイント ※審査のポイントは変更する場合があります。

1. 新規性・独創性
製品や空間を取り巻く新たな課題を発見し、その解決策を実現している。従来分野で改良を重ね、新しい価値を生み出している。ユニークな視点で開発・製造、設計されている。
2. 社会提案性・有用性
消費者に豊かな価値を提案・提供している。自然環境を含む社会的な課題に対して有効な新しい解決を提案・提供している。新たな市場開拓、価値開発に成功している。
3. 機能性・操作性
用途に応じた機能性が高いレベルで実現されている。明快でシンプルな使い勝手が優先されている。用途に応じた使いやすさが十分に考慮されている。
4. 意匠性・造形性
直感的に機能が理解しやすいデザインを実現している。フォルムや色彩が優れている。データや事例に基づき、設計に十分な配慮がなされている。
5. 参加性・継続性
誰でも容易に、使用または利用ができる仕組みを有している。短期的な視野でなく、長期的に経験できる仕組みを有している。

第二次審査の提出物(現物とWEB動画)について

応募時に提出されたプレゼンテーション資料に加え、下記の2点を提出いただくことが基本となります。

1. 作品の現物を提出いただけます。(会場の準備日10月27日(金)に直接搬入、または事前に発送)
プロダクトの応募作品は、原則として現物審査となります。大きいサイズの場合は、プレゼンテーション資料等を通じての審査となります。(展示サイズは原則として、約W600×D450×H600mm) (※要相談)
建築・空間、コミュニケーション、アイデアの場合は、模型やパンフレット、図面等の提出が可能です。(A1タテサイズまで展示可)
2. 作品の動画をインターネット上のWEB動画サイト(YouTube)にアップして提出いただけます。
(動画は原則として、10分以内) (※要相談)

※動画は審査対象となりますが、提出された作品と画像だけでも参加は可能ですので、その際にご相談ください。

※審査および提出物の詳細は、第一次審査確認結果通知とともにご案内いたします。

審査費用

第一次審査(書類審査)：無料

第二次審査(現物&WEB)：1作品 22,000円(税込)／学生 11,000円(税込)

2作品目から1点につき 11,000円(税込)

※作品等の審査会場への発送・返送にかかる費用やデータ送信にかかる費用は応募者負担となります。



賞について

賞の構成

第二次審査を通過した作品は、「いいね! アクアリウムのある暮らし」のもと、社会のために貢献しているデザインであることをグッドアクアリウムデザイン賞として顕彰します。さらにその中から、GOLD Prize (最優秀賞)、SILVER Prize (優秀賞)、BRONZE Prize (奨励賞)、AQUA Prize (特別賞)、CRYSTAL Prize (特別賞)などが選定されます。

受賞のメリット

グッドアクアリウムデザイン賞を受賞すると、作品に「GAマーク」をつけることが認められ、広報や販売促進などで広く社会にアピールすることができます。(GAマークを使用する場合は、別途「GAマーク使用料」が発生します。)

メディアや流通小売業と連携して、グッドアクアリウムデザイン賞の趣旨を伝えるとともに、受賞作品の掲載・露出・PRを積極的に行います。

また、記者発表会、受賞作品展などを通じて情報発信の機会を増やすことにつながるなど、多くのメリットがあります。

グッドアクアリウムデザイン賞にて、受賞された企業様は、ホームページや展示会ブース、広告にてGAマークを掲示し、お客様へのアピールに活用されています。(下記画像はインターペット2018)



受賞デザインのPR例

表彰式で受賞作品を紹介。

グッドアクアリウムデザイン賞WEBサイトで審査結果や審査員コメントを掲載。

みずものコムWEBサイトや雑誌にて広告や記事を掲載。

2021年グッドアクアリウムデザイン賞の発表は、「PR TIMES」にてプレスリリースを配信しました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000031628.html>

GAマーク

グッドアクアリウムデザイン賞を受賞した企業等の団体は、受賞した製品やパッケージ、パンフレット、WEBなどにGAマークを付けて、その成果を訴求することができます。GAマーク使用料を支払いいただくことで1年の間、GAマークを使用することが出来ます。期間を超えて継続使用する場合は再び使用申込みを行ってください。

GAマークの使用料(税別)は、次の通りとします。(1ヶ月間だけの使用は無料です。)

【プロダクト】 販売価格 5万円未満→2万円、5万円～20万円未満→5万円、20万円以上→10万円

【建築・空間】 販売行為を前提としない既築の建築物等→2万円、

工業化住宅やマンションなど販売行為を前提とした建築物等→10万円

【コミュニケーション】 販売行為を前提としないもの→2万円、販売価格(参加料・利用料など)があるもの→プロダクトと同様

【アイデア】 販売行為を前提としないもの→2万円、

受賞年度内に5年間分の使用を一括して申し込む場合、総額から50%割引します。長くGAマークを使用される場合にお得な割引です。



審査員

第6回審査員（前回 2022年）

岡本 信明（水産学博士／トキワ松学園 理事長） ★審査員長★
舛添 要一（国際政治学者） ★特別審査員★
松崎 元（プロダクトデザイナー / 千葉工業大学 デザイン科学科 教授）
横溝 賢（デザイナー・博士(工学) / 札幌市立大学 デザイン学部 准教授）
谷中 政之（日本観賞魚振興事業協同組合 常務理事 / 株式会社リオ 代表取締役社長）
成見 香穂（漫画家）
松端 秀明（デザイナー・アクリム運営 / マツバタデザイン企画 代表）
千田 義洋（アクアデザイナー / アクアデザインミリアデレクト 代表）
川田 洋之助（金魚研究家 / 金魚銀座 座主(CEO)）
富澤 直人（岡山理科大学専門学校 アクアリウム学科 講師・動物系総合学科研究科長）
鶴田 賢二（コーラルフリークス・アクアスタイル 編集長 / 株式会社クレインワイズ 代表取締役）
滋野 実（ペットページ 編集長 / 有限会社動物の企画社 代表取締役）
黒田 誠（アクアリウムバス 主催 / 株式会社 Feedon 代表）

（敬称略／順不同）

●ユーザー審査員（5～10名 アクアリストの皆様より募集予定）

※アクアリストの皆様から公募した審査員、一般ユーザーの目線で審査いただきます。

※アクアリウム・観賞魚飼育の経験がある満20歳以上(2023年10月現在)の方で第二次審査に参加できる方。

<前回2022年実績 7名>

●一般投票（WEB投票と会場投票）

※WEBサイト上で一般の方が匿名で投票できるシステムを採用予定。

<前回2022年実績 約100人>

※同会場で行われているイベント「アクアリウム東京」の入場者へ先着で投票権を配布予定。

<2022年実績 約300人>

お問い合わせ

グッドアクアリウムデザイン実行委員会（事務局 みずものコム内）

TEL 0463-86-3046（平日10:00～17:00）

FAX 0463-86-3179

グッドアクアリウムデザイン賞 WEBサイト <https://www.goodaquarium.jp>

メールアドレス award@goodaquarium.jp